

3月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇楨夫市長

平成22年第2回香美市議会3月定例会が3月3日に開会された。定例会初日には議長・各特別委員長の報告、また門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。

新庁舎建設の進捗状況

工事は順調に進み、

現在、基礎工事に入っている。施工業者には

工法の工夫や防音対策を講じることにより、騒音・振動の低減化に努めもらつてている。

なお、工事用車両の通行による交通渋滞等にも配慮しながら、工事を進めていく。

ラーゴ市へ訪問交流

姉妹都市アメリカ・

ラーゴ市とは近年、五年ごとの相互訪問交流を行つてている。本年度は四十周年を記念して

市あげての歓迎のなか、二月三日から九日までの日程で六名が訪問し、ます友好の絆を強め



また、同時期に山田高校十四名（生徒十二名引率教員二名）もラーゴ高校での短期留学を行つた。

行政事務の広域化

開発による本市の産業経済の振興をはかり、住民の福祉に寄与することを目的として、昭和四十六年一月十八日に設立されたが、平成二十一年十一月一日時

点で保有する公共用地等がなく、また、次年度以降の事業計画を有しないため解散することとした。平成二十一

年十二月二日の理事会決され、同月二十四日に知事の認可を受けた。

その後、清算にかかる所要手続を進めており、

三月中にはすべての事務が完了する予定である。

行政事務の共同処理の拡充に向けた検討・協議を行うため南国市、香南市との三市により

財団法人香美市開発公社の解散

る秦山町水路改修工事は完成し、次年度における測量委託業務も年度内完了予定である。

県営施工による船谷池の改修は進捗率が約六〇%で十二月には完成予定となつていて。

戸別所得補償制度も骨格が固まり、その対応を関係機関とともに

調整している。また、三期対策による中山間地域直接支払制度も高齢化の進行に配慮した制度に見直され、五年間は引き続き実施するよう進めている。

水路改修工事進捗、戸別所得補償制度に対応

村づくり交付金によ





「香美市いんふおめーしょん」オープン

土佐山田駅前に建設

ーを活用した外装、周辺駅前広場舗装、施設内の楽しい仕掛けも設けており、四月一日にオープンする。

定である。

各種交付金で市道

中の交流施設「香美市
いんぶおめーしょん」
の本体工事が完了した。
敷地面積六九・三六平
方、建築面積三九・
五四平方、木造平屋
建てで、車椅子の方に
もご来場いただける設
計となつてゐる。アン
パンマンのキャラクタ

組んでいる市道有谷線
谷相線改良工事は、年
度内完了の予定である
西後入線改良工事につ
いては、縁越施工の予

道路整備交付金事業の市道大柄山崎線改良工事は、年度内完了の予定である。
地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業で取り組んでいる市道美良布駅線舗装側溝改修工事のほか、六件の道路改良・舗装補修・橋梁塗り替え工事等は年度内完了の予定である。

香美市地球温暖化 対策地域推進計画

まちづくり交付金事業で取り組んでいる奉山公園駐車場整備工事及び高質空間形成事業のソーラー照明設置工事は、年度内完了の予定である。

泰山公園の 駐車場整備

事業採択が確定して六
件が完了しており、残
り一件についても年度
内完了の予定である。

二十年度繰越の地域活性化・生活対策臨時交付金事業で実施して、いた市道商店街通り側溝改修工事の他、五件の道路改良・舗装補修・排水路改修工事については、年度内に完了予定である。

地域の特性を活かした地球温暖化対策の実施や、環境に配慮したまちづくりを目的とした地球温暖化対策地域推進計画が策定された。

学校の耐震化

関係者出席のもと「セントラルグループ香美市物部の森」パートナーズ協定を締結した。三年間で九十万円の協賛金を活用し、市有林の間伐やセントラルグループ社員等の環境教育活動などを行う。

協働の森づくり

一月十日、高知工科大学で成人式が行われた。

新成人門出

B 保育園（仮称）は現在造成工事を行つており、順調に進捗している。保育園の名称は公募により決定する予定で、広報で募集している。

※ 名称は、公募により、「あけぼの保育園」に決定した。